

2. 規模・機能の評価シート

資料 3-3

○施設種別：（1）主練習場(グラウンド)

機能				視点				総合評価 (対応方針)	
種類	『資料2-2』 該当ページ/No	現状	ご意見（検討項目）	①利用者の増加		②コスト			
必要規模	P1~3 No.1~50	面積：5,845 ㎡ (100m× 58m程度)	(1) 競技（大会・練習）に必要な 面積を確保	(資料3-4参照)		(資料3-4参照)		(資料3-4参照)	
	P3 No.51		(2) 8,000～10,000人規模のコン サートができる規模を確保	利用者の増加が見込めるが、特 別用途地区の規制により、 10000㎡を超える集客施設が設 置不可である。	△	面積の増加に伴って費用も増加し ていくことに加え、コンサートに対応 するための音響設備や観覧席等 の費用が増加となる。	×	コスト面から8,000～10,000人 規模のコンサートができる規模とは しないものとする。	×
床	P3~4 No.52~76	土	(3) 人工芝	現状の土から人工芝にすることで 利用できなくなる競技はなく、利用 可能な競技が増えることから利用 者数の増加が見込める。	○	現状の土と比べるとイニシャルコスト は増となるが、ランニングコストは抑 えられる。	△	利用の幅が広がるが見込める ため、コストを考慮しつつ人工芝の 方向で設計を進める。	○
	P5 No.77~78		(4) グラウンドに穴が空くことがないよ うな仕様	また、人工芝とすればグラウンドに 穴が空くことはない。					
	P5 No.79~82		(5) 人工芝と土両方	人工芝と土を半々とした場合、全 面利用がしにくいことが想定され、 利用者の増加につながらない恐れ がある。	×	人工芝と土の両方に対応するた め、余計なコストが発生する。	×	両方の視点で評価が低いことか ら、人工芝と土両方とはしないもの とする。	×
	P5 No.83		(6) オムニコート（砂入り人工芝）の テニスコート	テニス利用者の増加は見込めるも の、他の競技で利用しづらくなり、 全体として利用者の増加につ ながらない恐れがある。	×	現状の土と比べるとイニシャルコスト は増となり、また、定期的に砂の補 充等のメンテナンスも必要となりラン ニングコストは人工芝よりも増とな る。	×	両方の視点で評価が低いことか ら、オムニコート（砂入り人工芝） のテニスコートとはしないものとし る。	×
	P5 No.84~86		(7) 土	現サンドームと同じであり、利便性 に変化がないため全体として利用 者の増加につながらない。	△	現サンドームと同じであり、コストは 現状維持。	○	コスト面は変わらないが、利用者の 増加は見込めない。	△
暖房・冷房	P5~6 No.87~107	移動式の ストーブ1台	(8) 空調設備の設置	空調を設置することで利用環境が より良くなり利用者の増加が見込 める。	○	現状空調設備は未設置であること に加え、大空間である主練習場の 空調となると、空調設備のイニシャ ルコスト増に加え、ランニングコスト も増大する。	×	利用者増は見込めるが、コスト面 での検討が必要である。	△
照明	P6 No.108	あり	(9) 適切な明るさの照明	競技に必要な照度を確保すること で良好な競技環境を提供でき、 利用者の増加が見込める。	○	LED等、長寿命・省電力の照明 設備を使用することでランニングコ ストを減らし、トータルコストを抑え ることが可能。	○	両方の視点で評価が高いことか ら、適切な明るさの照明を設置す る方向で設計を進める。	○

機能				視点				総合評価 (対応方針)	
種類	『資料2-2』 該当ページ/No	現状	ご意見	①利用者の増加		②コスト			
壁・窓等	P6 No.109	塗装仕上げ 窓あり	(10) 冬場、気持ちが明るくなる内装 デザイン	良好な競技環境を提供でき、利 用者の増加が見込める。	○	特殊な壁材でなければコストはほ ぼ変わらない。	○	両方の視点で評価が高いことか ら、明るい内装デザインの方向で 設計を進める。	○
備品	P6～7 No.110～118	サッカーゴール 2台他	(11) 競技（大会・練習）に必要な 備品	良好な競技環境を提供でき、利 用者の増加が見込める。	○	全ての競技の備品確保はコストが 増えるため、取捨選択が必要。	△	利用頻度を考慮し、設計時に備 品の種類およびグレードを検討す る。	○
その他	P7 No.119	分割ネットあり	(12) 分割できるネットを設置	分割して利用できることで利用者 の増加に寄与する。	○	現状でもある設備なので、大きなコ スト増にはならない。	○	両方の視点で評価が高いことか ら、分割できるネットを設置する方 向で設計を進める。	○
	P7 No.120	なし	(13) ラインのポイントを設置	試合準備時間の短縮により利用 環境が向上し、利用者の増加に 寄与する。	○	ポイントを設置するだけなので大き なコスト増にはならない。	○	両方の視点で評価が高いことか ら、ラインのポイントを設置する方 向で設計を進める。	○
	P7 No.121～126	なし	(14) 観覧席	利用者の増加が見込めるが、特 別用途地区の規制により、 10000㎡を超える集客施設が設 置不可である。	△	観覧席の設置コストに加え、必要 な面積も増えるためコスト増にな る。	×	コスト面から評価は低いことから、 固定の観覧席は設けず、パイプ椅子 やベンチでの対応を設計時に検 討する。	△
	P7 No.127～128	なし	(15) 音響、モニターの設置	利用増加が見込めるが、大きな大 会の開催が見込まれないとその恩 恵が得られにくい。	△	音響、モニターの設置コストに加 え、必要な面積も増えるためコス ト増になる。	×	コスト面で評価は低いことから、音 響、モニターの設置しないものとす る。	×
	P7 No.129	片側のみ水道あ り	(16) 分割したエリアごとに使用できる 水道の設置	水道を必要とする利用者の増加 は見込めるが、限定的と考えられ る。	△	水道を設置するだけなので大きな コスト増にはならない。	○	水道の設置については現在の利 用状況を考慮しながら設計時に検 討する。	○
	P7 No.130	なし	(17) 休憩スペースの設置	利便性が向上することで利用者 の増加が見込める。	○	コストは増加するが、空きス ペースを活用することで費用増加を抑 えることが可能。	△	空きスペースを活用して椅子やベン チを置くなど、休憩できるスペース の設置を設計時に検討する。（観 覧スペースとの兼用も検討）	○
	P7 No.131	なし	(18) ゴミ庫の設置	利用者の増加にはそれほど寄与し ないと考えられる。	△	必要な面積が増えコスト増とな るが、空きスペースにゴミ箱を置くこ とで対応できればコストを抑えられ る。	△	ゴミ庫の設置は必要性を考慮しな がら設計時に検討する方向で設 計を進める。	△
	P7 No.132	窓あり	(19) グラウンドから外が見えるように	グラウンドの利用環境が向上し、 利用者の増加が見込める。	○	一般的な窓であれば大きなコスト 増にはならない。	○	両方の視点で評価が高いことか ら、外が見えるように窓を設置す る。	○

2. 規模・機能の評価シート

資料 3-3

○施設種別：（2）ジョギングコース

機能				視点				総合評価 (対応方針)	
種類	『資料2-2』 該当ページ/No	現状	ご意見	①利用者の増加		②コスト			
必要規模	P7~8 No.133~155	1周300m 幅2m程度	(20) 現状以上の長さと幅を確保	走りやすい環境を整備することで、 利用者の増加が見込める。	○	長さ、幅の増加に伴って費用も増加していくため、過剰とならない適正な長さ、幅を検討することで費用増加を抑えることが可能。	△	コストを考慮しつつ可能な限り現状以上の長さ、幅を確保する。	○
床	P9 No.156~158	ウレタン塗床	(21) 膝に負担の少ない床材	走りやすい環境を整備することで、 利用者の増加が見込める。	○	床の材質によってはコスト増となる可能性があるが、イニシャルコストと耐久性を考慮しながら検討することで費用増加を抑えることが可能。	△	イニシャルコストと耐久性を考慮しつつ膝に負担の少ない床材とする。	○
暖房・冷房	P9 No.159~162	なし	(22) 空調設備の設置		－		－	主練習場と同一空間となるため、主練習場に準拠	－
その他	P9 No.163	なし	(23) ジョギングコースと同一階にトイレを設置	ジョギングコースの利用環境が向上し、利用者の増加が見込める。	○	コスト増にはなるが、トイレの数を最小限とすることで費用増加を抑えることが可能。	△	コストを考慮しつつ同一階にもトイレを設置する方向で設計を進める。	○
	P9 No.164	なし	(24) 手すりの設置	手すりが必要とする利用者の増加は見込めるが、限定的と考えられる。	△	主練習場の2階にジョギングコースを設置する想定であれば、転落防止のための手すりは必要であるが、歩行のための手すりを追加するとコストは増加する。	△	手すりの設置については現在の利用状況を考慮しながら設計時に検討する。	△
	P9 No.165~166	あり	(25) 水飲器の設置	ジョギングコースの利用環境が向上し、利用者の増加が見込める。	○	水飲器を設置するだけなので大きなコスト増にはならない。	○	両方の視点で評価が高いことから、水飲器を設置する方向で設計を進める。	○
	P9 No.167	なし	(26) 電子ペーサーの設置	記録更新を目標とするマラソンランナーの利用増には寄与すると考えられるが、健康増進を目標とする一般市民の利用増にはそれほど寄与しないと考えられる。	△	設置費用が高いことに加え、全国でも電子ペーサーを常設している施設は少ない。	×	コスト面で評価が低いことから、電子ペーサーは設置しないものとする。	×
	P9 No.168	窓あり	(27) ジョギングコースから外が見えるように	ジョギングコースの利用環境が向上し、利用者の増加が見込める。	○	一般的な窓であれば大きなコスト増にはならない。	○	両方の視点で評価が高いことから、外が見えるように窓を設置する方向で設計を進める。	○

2. 規模・機能の評価シート

資料 3-3

○施設種別：（3）トレーニング室

機能				視点			総合評価 (対応方針)	
種類	『資料2-2』 該当ページ/No	現状	ご意見	①利用者の増加		②コスト		
必要規模	P9~10 No.169~184	187㎡	(28) 現状以上の規模とし、休憩スペースも確保	トレーニング環境の向上が図られ、利用者の増加が見込める。 ○	面積の増加に伴って費用も増加していくため、過剰とならない適正な面積を検討することで費用増加を抑えることが可能。 △	コストを考慮しつつ、適正な面積を検討する。	○	
暖房・冷房	P10 No.185	空調あり	(29) 空調設備の設置	トレーニング環境の向上が図られ、利用者の増加が見込める。 ○	現状でも空調設備を設置しているため、大きなコスト増にはならない。 ○	両方の視点で評価が高いことから、空調設備を設置する方向で設計を進める。	○	
備品	P10~11 No.186~207	トレッドミル 他	(30) トレーニング器具の充実と保管場所の確保	様々なトレーニングが可能となることで、利用者の増加が見込める。 ○	器具の増加に伴って費用も増加していくため、コストを考慮しながら設置器具を検討する必要がある。 △	コストを考慮しつつ、設計時に設置する器具及び器具庫の大きさを検討する。	○	
その他	P11 No.208	施設の奥側に位置している	(31) 入口から近い位置に設置	利便性が向上することで利用者の増加が見込める。 ○	間取りの工夫で対応可能であるため、コストには特に影響しない。 ○	可能な限り入口から近い位置に設置するよう設計時に検討する。	○	

2. 規模・機能の評価シート

資料 3-3

○施設種別：（４）会議室

機能				視点			総合評価 (対応方針)		
種類	『資料2-2』 該当ページ/No	現状	ご意見	①利用者の増加		②コスト			
必要規模	P11 No.209~222	125㎡（66㎡ +59㎡）	(32) 現状以上の規模で、必要に応じて可動間仕切りで分割	様々な使い方が可能となることにより、利用者の増加が見込める。	○	面積の増加に伴って費用も増加していくため、過剰とならない適正な面積を検討することで費用増加を抑えることが可能。	△	コストを考慮しつつ可能な限り現状以上の面積を確保し、可動間仕切りで分割できる仕様とする方向で設計を進める。	○
暖房・冷房	P11 No.223	空調あり	(33) 空調設備の設置	利用環境の向上が図られ、利用者の増加が見込める。	○	現状でも空調設備を設置しているため、大きなコスト増にはならない。	○	両方の視点で評価が高いことから、空調設備を設置する方向で設計を進める。	○
備品	P12 No.224~229	机、いす他	(34) 備品の充実	利便性が向上することで、利用者の増加が見込める。	○	備品の増加に伴って費用も増加していくため、コストを考慮しながら設置備品を検討する必要がある。	△	利用者の増加に寄与することから、コストを考慮しつつ設計時に設置する備品を検討する。	○

2. 規模・機能の評価シート

資料 3-3

○施設種別：（５）プール室・シャワー室

機能				視点			総合評価 (対応方針)		
種類	『資料2-2』 該当ページ/No	現状	ご意見	①利用者の増加		②コスト			
必要規模	P12 No.230~242	100㎡程度 (男50㎡+女50㎡)	(35) 現状以上の規模	快適な利用環境を提供することにより、利用者の増加が見込める。	○	面積の増加に伴って費用も増加していくため、過剰とならない適正な面積を検討することで費用増加を抑えることが可能。	△	コストを考慮しつつ可能な限り現状以上の面積を確保する。	○
備品	P12 No.243~245	ロッカー他	(36) 備品の充実	利便性が向上することで、利用者の増加が見込める。	○	備品の増加に伴って費用も増加していくため、コストを考慮しながら設置備品を検討する必要がある。	△	利用者の増加に寄与することから、コストを考慮しつつ設計時に設置する備品を検討する。	○
その他	P12~13 No.246~250	なし	(37) サウナ、水風呂、浴槽の設置	サウナ等を目的とする利用者の増加は見込めるが、運動目的の利用者の増加については限定的と考えられる。	×	サウナ、水風呂、浴槽の設置コストに加え、必要な面積も増えるためコスト増になる。	×	両方の視点で評価が低いことから、サウナ、水風呂、浴槽は設置しないものとする。	×
	P13 No.251	なし	(38) プロ選手が使用できる仕様	一般市民の利用増加については限定的と考えられる。	×	プロ仕様とすることでコストは増加する。	×	両方の視点で評価が低いことから、コストを考慮し、一般の利用者のための標準的な仕様とする。	×

2. 規模・機能の評価シート

資料 3-3

○施設種別：（6）トイレ

機能				視点			総合評価 (対応方針)	
種類	『資料2-2』 該当ページ/No	現状	ご意見	①利用者の増加	②コスト			
必要規模	P13 No.252~257	114㎡程度 (男57㎡+女 57㎡)	(39) 現状以上の規模	快適な利用環境を提供することにより、利用者の増加が見込める。	○	面積の増加に伴って費用も増加していくため、過剰とならない適正な面積を検討することで費用増加を抑えることが可能。	△	コストを考慮しつつ利用者数等を想定した上で必要な規模を確保する。
	P13 No.258~259		(40) 多目的トイレの十分な数の設置	快適な利用環境を提供することにより、利用者の増加が見込める。	○	現状でも多目的トイレを設置しているため、大きなコスト増にはならない。	○	両方の視点で評価が高いことから、必要な数の多目的トイレを設置する方向で設計を進める。
その他	P13 No.260~269	和式、洋式	(41) 洋式便器を希望	近年の主流である洋式とすることで利用環境が向上し、利用者の増加が見込める。	○	洋式と和式で大きなコストの違いはない。	○	両方の視点で評価が高いことから、洋式便器を設置する方向で設計を進める。
	P14 No.270~273	ウォシュレットあり	(42) ウォシュレット、便座消毒の設置や幼児等誰もが利用しやすい仕様	快適な利用環境を提供することにより、利用者の増加が見込める。	○	ウォシュレットや便座消毒等の設備設置に伴って費用も増加していくため、コストを考慮しながら仕様を検討する必要がある。	△	コストを考慮しつつ設計時に仕様を検討する。

2. 規模・機能の評価シート

資料 3-3

○施設種別：（7）駐車場

機能				視点			総合評価 (対応方針)		
種類	『資料2-2』 該当ページ/No	現状	ご意見	①利用者の増加		②コスト			
必要規模	P14~16 No.274~320	100台程度	(43) 十分な駐車台数を確保	自家用車で来館しやすくなることで、利用者の増加が見込める。	○	面積の増加に伴って費用も増加していくため、過剰とならない適正な面積を検討することで費用増加を抑えることが可能。	△	コストを考慮しつつ可能な限り現状以上の駐車台数を確保する。	○
その他	P16 No.321~325	除雪対応	(44) 駐車場の雪対策	冬でも自家用車で来館しやすくなることで、利用者の増加が見込める。	○	立体駐車場はコストが増加するが、平面駐車場で融雪又は除雪対応とすることでコストを抑えることが可能。	△	コストを考慮しつつ、設計時に融雪と除雪対応どちらとするか検討する。	○
	P17 No.326~327	白線あり 車止めなし	(45) 白線、車止めの設置	駐車しやすくすることで利用者の増加が見込める。	○	白線、車止め共にコストが増加する。また、車止め設置の場合、除雪の効率が悪くなる懸念もある。	△	白線は整備する方向で検討するが、車止めは除雪効率の懸念があることから設計時に設置するかどうかを検討。	△
	P17 No.328~329	建物の近くに駐車場あり	(46) 建物の近くに駐車場を整備	駐車場からのアクセスが向上することで利用者の増加が見込める。	○	建物、駐車場の配置の工夫で対応可能であるため、コストには特に影響しない。	○	可能な限り近くに駐車場を整備するものとして、設計時に配置を検討。	○
	P17 No.330	専用の駐車場	(47) サンドーム専用の駐車場	サンドーム利用者が自家用車で来館しやすくなることで、利用者の増加が見込める。	○	コストは増加するが、駐車場にゲートを設置することで、サンドーム利用者以外をある程度抑制できる。	△	コストを考慮しつつ、駐車場へのゲートの設置を検討する。	○